

Citation: Gagnier JJ, vanTulder M, Berman B, Bombardier C. Herbal medicine for low back pain. *The Cochrane Database of Systematic Reviews* 2006, Issue 2. Art. No.: CD004504. DOI: 10.1002/14651858.CD004504.

CRG名: Back

[最新版\(英語版\)はこちら](#)

英語版最終改訂年月: 15 December 2005

Clib issue No.; N/U: 2006 issue 2; New review

背景: 腰痛は多くみられる症状であり、工業化された社会ではかなりの経済的負担である。慢性腰痛患者の相当数が代替医療(CAM)を使用したり、CAMの開業医を訪れたり、またはその両方を行っている。いくつかのハーブ療法が腰痛に使用できるとされている。

目的: 非特異的腰痛に対するハーブ療法の有効性を判定する。

検索戦略: 次の電子データベースを検索した。Cochrane Complementary Medicine Field Trials Register(2005年3号)、MEDLINE(1966~2005年7月)、EMBASE(1980~2005年7月)。またレビュー論文、ガイドライン、検索された試験に引用された文献一覧を調査した。さらにこの非常に特殊な領域の専門家に個人的に連絡をとった。

選択基準: 急性、亜急性または慢性の非特異的腰痛の成人(18歳を超える)を検討しているランダム化比較試験を採用した。介入は、治療目的のために何らかの形態で使用される植物と定義したハーブ療法とした。主要アウトカム指標は痛みと機能とした。

データ収集と分析: 2名の著者(JJGとMVT)がデータベースを検索した。1名の著者は内容の専門家と連絡を取り、関連引用文献を入手した。同定された研究のすべての参考文献と抄録をダウンロードした。最終的な選択決定のためにプリントアウトして検索した。2名が研究方法の質と臨床的関連性を別々に評価した。意見の相違は2名の合意により解決した。

主な結果: 本レビューでは10件の試験が組入れられた。Harpagophytum Procumbens(和名:ライオンゴロシ;デビルズクロー)の効果を検証した2件の質の高い試験から、ハーパゴサイド50mgまたは100mgに標準化した1日用量が痛みの短期改善と救済投与においてプラセボよりも優れているとする強いエビデンスが見いだされた。質の高い別のもう1件の試験から、ロフェコキシブ(Vioxx)12.5mg/日と相対的な同等性が示された。Salix Alba(和名:セイヨウシロヤナギ;白ヤナギ皮)の効果を検証した2件の試験からは、サリシン120mgまたは240mgに標準化した1日用量が痛みの短期改善と救済投与においてプラセボよりも優れているとする中等度のエビデンスが見いだされた。もう一つの試験から、ロフェコキシブ12.5mg/日との相対的な同等性が明らかにされた。Capsicum Frutescens(和名:キダチトウガラシ;唐辛子)に関する質の低い3件の試験は種々の局所製剤を検証しており、Capsicum Frutescensがプラセボよりも好ましい結果を生むとする中等度のエビデンスを見いだした。1件の試験ではホメオパシー軟膏と同等であることが見いだされた。

レビューアの結論: Harpagophytum Procumbens、Salix AlbaおよびCapsicum Frutescensは、プラセボよりも痛みの緩和に優れていると思われる。これらのハーブ療法を標準的治療と比較したその後の追加試験が必要である。これらの試験で報告されている質は一般に劣っていた。試験実施者は、ハーブ療法による介入の試験を報告するにあたっては、CONSORT声明拡張版を参照する必要がある。

翻訳公開日: 06年7月10日

ご注意: この日本語訳は、臨床医、疫学研究者などによる翻訳のチェックを受けて公開していますが、訳語の間違いなどお気づきの点があれば、Minds事務局までご連絡ください。なお、コクラン・ライブラリは年4回改定版が発行されます。Mindsでは最新版の日本語訳を掲載するよう努めておりますが、編集作業に伴うタイム・ラグが生じている場合もあります。ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認ください。